

# 第14章 本支店会計

## 学習の要点

1. 支店の会計を本店から独立させた場合（支店独立会計制度）には、本支店間・支店相互間の取引に貸借関係が生じます。

この貸借関係を、本店では支店勘定を設け、支店では本店勘定を設けて記帳します。

支 店		本 店	
支店へ貸し	支店より借り	本店へ貸し	本店より借り
(本店の元帳)		(支店の元帳)	

2. 本支店間の取引を本店でも支店でも記帳済みであれば、支店勘定と本店勘定の残高は、貸借反対で一致することとなります。

3. 本店から支店へ商品を送付するとき、原価に一定の利益を加算して送付したときは、「本店へ売上」勘定、「本店より仕入」勘定で処理します。

- (1) 本 店 ⇒ 本 店 ×××      支店へ売上 ×××  
 (2) 支 店 ⇒ 本店より仕入 ×××      本 店 ×××

4. 支店相互間の取引も、本店集中計算制度を採用した場合は、それぞれの支店が本店を相手に取引を行ったように記帳します。各支店では、相手方の支店勘定を用いず、すべて本店勘定に記帳します。

5. 合併損益計算書および合併貸借対照表は、修正前試算表から次の手続きにより作成します。

- (1) 本店・支店ごとに未達事項を整理する。
- (2) 本店・支店ごとに決算整理事項を整理する。
- (3) 本店勘定と支店勘定とを相殺消去する。
- (4) 本支店間の売上高と仕入高（「支店へ売上」勘定と「本店より仕入」勘定）とを相殺消去する。
- (5) 合併損益計算書では、期末商品棚卸高から当期の内部利益を直接控除し、期首商品棚卸高から前期の内部利益を直接控除する。

合併貸借対照表では、商品から当期の内部利益を直接控除する。

- (6) 本支店の同じ勘定科目の金額を合算する。

## メモ

# 演習コーナー

## 問題31 [本・支店間の取引の処理]

1. 支店独立会計制度によりつぎの取引を仕訳しましょう。

- (1) 本店は小切手¥200,000を振り出し支店に送付した。支店はこれを受け取った。
- (2) 本店は原価¥200,000の商品を20%の利益を加算し支店へ積送した。支店はこれを受け取った。
- (3) 支店は本店の売掛金¥150,000を約束手形で回収した。
- (4) 支店は本店の従業員の旅費¥45,000を現金で立替えた。

(1)	本店		
	支店		
(2)	本店		
	支店		
(3)	本店		
	支店		
(4)	本店		
	支店		

2. 本店集中計算制度によりつぎの取引を仕訳しましょう。

- (1) 本阪支店は小切手¥200,000を振り出して仙台支店に送付した。仙台支店はこれを受け取った。
- (2) 熊本支店は原価¥250,000の商品を20%の利益を加算して大阪支店へ積送した。大阪支店はこれを受け取った。

(1)	本店		
	大阪支店		
	仙台支店		
(2)	本店		
	熊本支店		
	大阪支店		

# ● 演習コーナー ●

## 問題32 ● [未達事項の整理]

1. 本店における支店勘定は、借方残高¥810,000、支店における本店勘定は、貸方残高¥760,000であった。両勘定残高の不一致の原因を調査したところ、下記の未達事項にもとづくものであることが判明した。よって次の問いに答えなさい。

(1) 本店または、支店の勘定残高を修正するために行う整理を仕訳で示しましょう。

未達事項

- ① 本店から支店へ発送した商品¥80,000が未達である。
- ② 支店から本店へ送った現金¥50,000が未達である。
- ③ 本店が支店の売掛金¥100,000を回収したが、この通知が未達である。
- ④ 支店が本店の営業費¥20,000で立て替えて支払ったが、この通知が未達である。

(1)	①	( )店	
	②	( )店	
	③	( )店	
	④	( )店	

(2) 支店勘定残高と本店勘定残高は、いくらで一致するかその金額を示しましょう。

支店勘定・本店勘定の残高は  で一致する。

### ◀ メモ ▶

## 例題コーナー

### 例題 [合併財務諸表の一連の処理]

1. 次の残高試算表、期末修正事項、および未達事項によって、未達事項の仕訳をし、(1)本店支店合併の損益計算書と(2)貸借対照表を作成しなさい。なお、本店支間の仕入高と売上高は合併損益計算書の仕入高と売上高に含めないこと、本店から支店へ商品を発送するさい、原価の10%の利益が加算されているが、未実現の内部利益は商品卸高から直接控除すること、減価償却費は営業費に、未達現金は現金預金に、未達商品は商品（棚卸高）に含めて示すこと。また当期純利益は貸借対照表では剰余金に含めて示すこと。

残 高 試 算 表

借 方	本 店	支 店	貸 方	本 店	支 店
現金預金	32,000	10,000	買掛金	150,000	30,000
売掛金	150,000	73,000	減価償却累計額	40,000	10,000
繰越商品	60,000	30,000	本店		91,600
支店	117,400		資本金	200,000	
備品	160,000	40,000	剰余金	47,400	
仕入	800,000	100,000	売上	670,000	430,000
本店より仕入		288,200	支店へ売上	297,000	
営業費	85,000	20,400			
	1,404,400	561,600		1,404,400	561,600

#### 期末修正事項

- 期末商品棚卸高

本店 ￥70,000

支店 ￥50,000（うち￥38,500は本店より仕入分）

なお、支店の期首商品棚卸高のうち￥22,000は本店から仕入れたものであり、原価に対し10%の利益が含まれている。

- 備品について定率法で減価償却を行う。償却率は25%である。

#### 未達事項

- ① 本店から支店への商品発送高（この金額は期末商品棚卸高のうちに含まれていない）  
 ￥ 8,800
- ② 支店から本店へ送金高 ￥20,000
- ③ 本店で支払った支店の買掛金 ￥12,000
- ④ 本店で受け取った支店の売掛金 ￥15,000

# 例題コーナー

未達事項の仕訳

①	支店	未達商品	8,000	本店	8,000
②	本店	未達現金	20,000	支店	20,000
③	支店	買掛金	12,000	本店	12,000
④	支店	本店	15,000	売掛金	15,000

(1) 合併損益計算書

費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	88,000	売上	1,100,000
仕入	900,000	期末商品棚卸高	124,500
営業権	142,900		
当期純利益	93,600		
	1,224,500		1,224,500

(2) 合併貸借対照表

資産	金額	負債・資本	金額
現金預金	62,000	買掛金	168,000
売掛金	208,000	減価償却累計額	87,500
商品	124,500	資本金	200,000
備品	200,000	剰余金	139,000
	594,500		594,500

メモ

問題33 [合併財務諸表の作成]

1. 次の残高試算表、期末修正事項、および未達事項によって、本店支店合併の(1)損益計算書と(2)貸借対照表を作成しなさい。なお、本店支間の仕入高と売上高は合併損益計算書の仕入高と売上高に含めないこと、本店から支店へ商品を発送する際、原価の10%の利益が加算されているが、未実現の内部利益は商品卸高から直接控除すること、減価償却費は営業費に、未達現金は現金預金に、未達商品は商品（棚卸高）に含めて示すこと。また、当期純利益は貸借対照表では剰余金に加減して示すこととします。

残 高 試 算 表

借 方	本 店	支 店	貸 方	本 店	支 店
現金預金	50,000	20,000	買掛金	130,000	34,000
売掛金	220,000	70,000	減価償却累計額	36,000	18,000
繰越商品	70,000	30,000	本店		85,600
支店	106,000		資本金	300,000	
備品	80,000	40,000	剰余金	50,000	
仕入	660,000	100,000	売上	584,600	282,400
本店より仕入		150,000	支店へ売上	165,400	
営業費	80,000	10,000			
	1,266,000	420,000		1,266,000	420,000

期末修正事項

● 期末商品棚卸高

本店 ￥90,000

支店 ￥20,000（うち本店からの仕入れ商品￥11,000）

なお、支店の期首商品棚卸高のうち￥22,000は本店から仕入れたものであり、これにも本店で加算した利益が含まれている。

● 減価償却費

本店 ￥ 7,200

支店 ￥ 3,600

未達事項

- 支店から本店へ送金高 ￥20,000
- 本店から支店への商品発送高 ￥15,400
- 本店で支払った支店の営業費 ￥ 5,000
- 本店で受け取った支店の売掛金 ￥20,000

# 演習コーナー

(1)

## 合併損益計算書

費用	金額	収益	金額
仕入		売上	
期首商品棚卸高		期末商品棚卸高	
営業費			
当期純利益			

(2)

## 合併貸借対照表

資産	金額	負債・資本	金額
現金預金		買掛金	
売掛金		減価償却累計額	
商品		資本金	
備品		剰余金	

✕モ

問題31の1の正解

①	本店	支店	200,000	当座預金	200,000
	支店	現金	200,000	本店	200,000
②	本店	支店	240,000	本店へ売上	240,000
	支店	本店より仕入	240,000	本店	240,000
③	本店	支店	150,000	売掛金	150,000
	支店	受取手形	150,000	本店	150,000
④	本店	旅費	45,000	支店	45,000
	支店	本店	45,000	現金	45,000

問題31の2の正解

1	本店	仙台支店	200,000	大阪支店	200,000
	大阪支店	本店	200,000	当座預金	200,000
	仙台支店	現金	200,000	本店	200,000
2	本店	大阪支店	300,000	熊本支店	300,000
	熊本支店	本店	300,000	本店へ売上	300,000
	大阪支店	本店より仕入	300,000	本店	300,000



問題33の正解

(1) 合併損益計算書

費用	金額	収益	金額
仕入	760,000	売上	867,000
期首商品棚卸高	98,000	期末商品棚卸高	123,000
営業費	105,800		
当期純利益	26,200		
	990,000		990,000

(2) 合併貸借対照表

資産	金額	負債・資本	金額
現金預金	90,000	買掛金	164,000
売掛金	270,000	減価償却累計額	64,800
商品	123,000	資本金	300,000
備品	120,000	剰余金	74,200
	603,000		603,000